

天草農業研究所

第1 基本方針

天草地域では、海岸島しょの温暖な気候を活かして、不知火系統（デコポン）、「河内晩柑」、ポンカンを主体とした中晩柑類が特産品として定着している。しかし、近年の温暖化の中で、生育特性の変化や障害果が発生し、生産が不安定になってきている。また、生産者の高齢化も進み、軽労働化対策も必要となっている。一方、温暖化の進展に伴い亜熱帯果樹の導入環境が整いつつあり、天草地域に適する新品目が期待されている。

このようなことから、天草地域の気象条件を最大限に活かし、高品質・低コストの売れる農産物づくりにより農業農村の持続的な発展を図るため、新たな品目・品種の選定、生産安定及び品質向上技術の確立に向けた試験研究に取り組む。

第2 重要研究事項

1 天草地域の魅力を発信できる新品種の選定

亜熱帯果樹として近年注目されているアボカドについて、天草地域に適した品種の選定と、連年安定生産のための管理技術を確立する。

2 天草特産果樹の高品質果実生産技術の開発

天草特産果樹である「河内晩柑」の高品質・省力生産のため、ヒリュウ台「河内晩柑」の生産安定技術を確立する。

露地栽培不知火系統では、早急な解決が求められている品質向上や果皮障害軽減技術を確立する。

また、新品種「熊本E C12」は、今後天草地域での導入も期待されていることから、天草での生育特性を把握し、早期成園化に向けた栽培技術を確立する。

第3 試験研究課題一覧

【天草農業研究所】

部門	大課題	中課題	予算		小課題	試験期間
			金額	区分		
果樹	1. くまもとの魅力を発信できる新品種の開発・選定	組替 (1) アボカドの優良品種の選定および連年安定生産技術の開発	1,201	県単	① 天草地域に適した優良品種の選定	R1～R6
					新規 ③ 連年安定生産のための管理技術の確立	R4～R6
					新規 ④ 病害虫発生状況の把握 ※②はR3に終了	R4～R6
	2. 稼げる農業を目指した革新的な生産技術の開発	(1) 天草地域特産果樹の生育把握と栽培技術の改善	1,301	県単	① カンキツ・ビワの生育状況・収量予測	H26～継続
					③ ヒリュウ台「河内晩柑」の生産安定技術 ※②はR2に終了	R2～R4
					② 「熊本EC12」初着果時の着花管理技術の確立	R3～R5
	(2) 天草地域における新品種「熊本EC12」の早期成園化に向けた栽培管理技術の確立	1,040	県単	① 天草地域における「熊本EC12」の生育・栽培特性の把握	R3～R5	
				② 「熊本EC12」初着果時の着花管理技術の確立	R3～R5	
				③ 秋期以降の土壌水分管理による高品質果実生産技術の開発 「果樹研究所、天草農業研究所」	R2～R4	
	(3) 気候変動に対応した露地栽培「肥の豊」の高品質果実出荷安定技術の確立（再掲・抜粋）	500	県単	① 秋期以降の土壌水分管理による高品質果実生産技術の開発 「果樹研究所、天草農業研究所」	R2～R4	
				② 果皮強化による果皮障害軽減技術の開発 「果樹研究所、天草農業研究所」	R2～R4	

注) **新規**：本年度から新たに取り組む課題

組替：課題設定時の内容を組み替えて設定する課題

延長：課題設定時の完了予定年度を延長して設定する課題

短縮：課題設定時の完了予定年度を短縮して設定する課題